

研修報告

総務常任委員会

●研修目的

- △ゴミ減量の取り組み
- △合併の取り組み状況

●研修地

- △岐阜県可児市
- △岐阜県恵那市

●研修結果

可児市のゴミ処理は、11市町村で組織する衛生施設利用組合で、可燃ゴミ焼却施設と不燃物処理施設及び最終処分場を利用しています。

この施設は、廃棄物ゼロの循環型処理を目指し焼却灰の溶融処理と、ゴミの分別による資源化処理、埋立物となる溶融スラグのリサイクル化を図っております。

ゴミの分別収集には、可燃ゴミと不燃ゴミ袋、粗大ゴミは指定シール制度をつくり、

有料となっております。

生ゴミには、毎年モデル地区を指定し、各家庭でEMボカシを使って発酵処理し、減量化を図るなど環境問題全般に対する意識の高まりがみられました。

市町村合併が進んでいる恵那市を訪問、3万6千人を擁する恵那市と恵南町村といわれる周辺の4町1村で、合併後の人口は5万7千人で昨年6月「恵那市、恵南町村合併検討協議会」を設立、各市町村の基礎調査を行い、基本項目を協議し合意が得られた項目は次のとおりです。

- ① 合併の期日は平成16年10月を目標とする。
- ② 新市の名称は歴史的背景を踏まえ「恵那市」とするが、住民参加による公募や



アンケートも検討する。

③ 事務所の位置は恵那市とするが、各町村庁舎の有効活用のため分庁方式も検討する。

④ 合併方式は恵那市が主導しながら新設合併とする。

⑤ 財産・債務は新市に引き継ぐ。

⑥ 議会議員の定数や任期は、議員は全員失職し、新

市の法定定数で設置選挙を行う。

⑦ 職員の身分の取り扱い、合併特例法との整合性を図り、給与格差、人口対比の是正を前提に定員の適正化計画を協議する。

以上の基本項目を再度確認の上、法定合併協議会が設立されており、学ぶことが多いと感じました。

文教厚生常任委員会

●研修目的

- △地域福祉計画の策定について

- △放課後児童クラブほか子育て支援について

●研修地

- △愛知県高浜市
- △愛知県知多市

●研修結果

高浜市の地域福祉計画の策定は、高齢者や障害を持つ方を含めたあらゆる方が、地域で自立した生活が出来るように、地域で支えあう新しい社会福祉サービスシステムを作るための地域福祉に関する計画です。

基本計画である「安心と人が支えあうまち」を踏まえ、「みんなで作ろう、心のひろば、支えあいのひろば」を基本理念として、形だけの住民参加ではなく真に住民が作り上げたものにするため、小学生や中学生も参加し住民が自主運営する「168（ひろば）委員会」の市民の意見反映をより広く取り入れ、大きな効果をもたらしてきました。これまでの形式的と言われ